

環境学部 3年 神足 瞳

ドイツ研修に参加した動機は、環境先進国であるドイツとはどんな場所なのか知りたいという好奇心でした。フィールド演習を通して歴史や文化を知り、大学までの通学路や放課後の市街探索で人々の生活環境を知りました。街の半分は緑地が占めていて、そのほとんどが公園内の木や芝で、多くの人が公園で各々の時間を自由に過ごしていました。地元の方から余裕を感じたのは、このようなリラックスできる場所があり、人と緑の距離が近く、その効果は居心地の良さだけでなく、人々が環境を重んずる意識を自然と生み出していることに気づき与えられ、日本も見習うべきだと思いました。



経営学部 3年 田村 健太郎

フィールド演習では、ウォルフハーゲンというエネルギーの100%を再生可能エネルギーで賄っている町を訪れ、どのような機械やシステムを取り入れて100%再生可能エネルギーで成り立たせているか学べたことはとても有意義な学びとなりました。また、フォルクスワーゲンやテクニカルミュージアムでドイツの自動車産業の発展、ICE、トラムなどの公共交通機関の発展も学びました。この留学経験で環境問題へより関心を持つことができたので、環境保護活動系のボランティアに参加したり、再生可能エネルギーやツーリズムなどの研究もしていきたいです。

